



瑞穂号

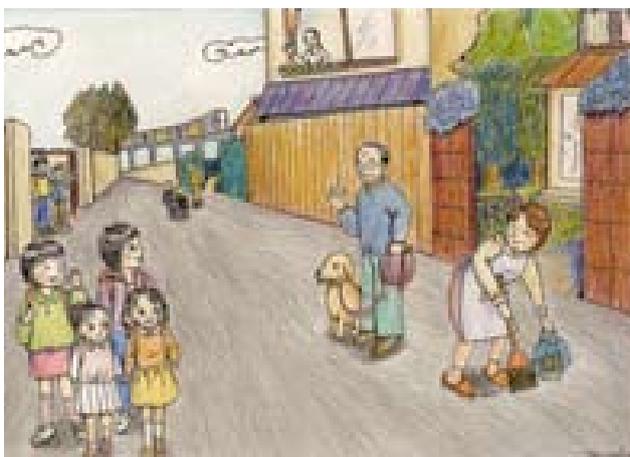
の旅

第17話 (最終回)

20年後に行ってみよう

皆さん、こんにちは。タイムマシン「瑞穂号」に乗っていろいろな時代に旅をしてきました。...

さあ、着きました。ほら、見てごらん。新青梅街道の上にはレールが通っています。...



行くんです。ずいぶん便利になりましたね。でも、この時代の良いのは、便利になったことだけじゃないんですよ。...

てきました。道路を掃除しているおばさんが、「おかえりなさいー」って子供たちに声をかけていますね。...

「学校は楽しかったかい」と聞いている人もいるし、「自動車に気をつけるんだよ」と注意をする人もいます。...

隣近所の人たちが、子供たちのことを、とつても気にかけているんです。それはね、学校に入ってきて、ナイフで子供たちに切りつけたり、...

そこで、どうしたらいいんだろうと、みんなで考えたんです。そして「そうだ、近所に住む人たちが、もっと親しくなればいいんだ」...



ところが、そうしたら、すごく住み良いまちになっちゃったんですよ。みんなが仲良しになることが、良いまちをつくるために、いちばん大切なことなんですよ。

(文・吉岡忠 絵・草野美奈子)

編集後記

無財の七施。お金は無くとも人に7つの施しはできるといふ意味です。「豊かな心」も大切な「財」の1つ。...

皆さんの「財」は何ですか。編集委員会の「財」は、皆様のお役に立っていますか。...

(森 亘)

訂正 前号(2月発行)の「タイムマシン瑞穂号の旅第16話」で、題名のふりがなが「箱根ヶ崎の宿」とあるのは「箱根ヶ崎の宿」の誤りでした。